

☆講師2名をお招きした特別セミナー！

医療機器開発のためのPMDA・学会・医師との 関係構築と医工連携のポイント

1名分料金で
2人目無料【LIVE配信】
【アーカイブ配信】セミナーURL <https://www.rdsc.co.jp/seminar/250255>◆日時:2025年02月27日(木)13:00~16:00
【アーカイブ配信:2/28~3/10(何度でも受講可能)】

◆会場:自宅や職場など世界中どこでも受講可

◆聴講料:1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき46,200円(税込)

・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で49,500円(税込))

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【第1部】13:00~15:00

「医療機器開発のための
PMDA・学会・医師との関係構築のポイント」

●講師:Land Trading LLC 代表 後藤 昭一氏

1.医療機器の開発において考慮すべき内容

1.1 医療機器開発 設計について

- ・開発する製品を汎用のものにするか、カスタムメイドにするか等考え方
- ・疾病固有の特性(学会、医師からの情報)
- ・患者適用範囲(明確な線引きが必要かどうか)
- ・治療を目的とした機器または診断を目的とした機器(画像診断、放射線、赤外線)
- ・市販されている同等または類似の製品の有無(比較品の有無)

1.2 病院または医師との連携

1.3 疾病調査

1.4 学会動向調査のメリットとデメリット

1.5 関係各所への聞き取り

- ・厚労省
- ・PMDA
- ・都道府県
- ・外国での調査

2.医師との連携

2.1 解剖学的視点からの考察

2.2 疾病の特徴

- ・問題点
- ・専門Dr.からの情報

2.3 臨床データ

- ・治療に関するデータがある場合
- ・新しい治療自体を開発する場合

2.4 非臨床試験の構築

- ・物理の専門家とDr.との連携が必要になる
- ・動物試験で代替可能かどうか
- ・模擬臓器を用いた試験方法

3.学会との連携

3.1 学会とのつながりについて

3.2 問題点をさぐる

4.PMDAとの連携

4.1 開発前相談

4.2 データ収集

4.3 製造における問題点

5.新たな医療特区の取り組みについて

【LIVE配信セミナーとは?】

・本セミナーは「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。「ミーティング用Zoomクライアント」をダウンロードするか、Webブラウザから参加するかの2種類がございます。

・ZOOM WEBセミナーのはじめかた(<http://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>)をご覧ください。

・お申込み後、受理のご連絡メールをさせていただきます。一部メールが通常セミナー形式(受講券、請求書、会場の地図)になっておりますが、LIVE配信のみのセミナーです。

・お申込み後、接続テスト用のURL(<https://zoom.us/test>)から「ミーティングテストに参加」を押していただき動作確認をお願いします。

・後日、別途視聴用のURLをメールにてご連絡申し上げます。セミナー開催日時の10分前に、視聴サイトにログインしていただき、ご視聴ください。

・セミナー資料は郵送にて前日までは、お送りいたします。タブレットやスマートフォンでも視聴できます。

・ご質問については、オープンにできるご質問をチャットにご記入ください。個別相談(他社に知られたくない)のご質問は後日メールにて講師と直接お願いします。

【第2部】15:10~16:00

「山口県医工獣産学公連携による
地域連携型の医療技術・機器開発研究拠点の構築と課題」

●講師:山口大学医学部附属病院リハビリテーション部

講師 西田 周泰氏

登壇者は、早期より医工連携並びに企業との共同研究に参画し、獣医学部とも連携して、サージカルトレーニングや生体試験の研究も開始した。また、Toledo大学に留学し、米国の医療機器開発のノウハウを学ぶ機会を得た。2023年には山口大学「医工獣産学連携による医療技術・機器開発センター」を立ち上げ、学長戦略会議 研究拠点群形成プロジェクトとして採択された。本拠点では、整形外科を中心に各診療科、工学部と共同獣医学部が連携して、新たな工学/実験機器・医療機器開発と人材育成のシステム構築を進めている。山口県、宇部市、山口県産業技術センターも参画しており、医療機器開発に対する支援体制も整いつつある。医療機器開発の現状並びにまた将来的な産学連携の問題点について述べる。

1. はじめに

2. 医工連携について

2-1 山口大学の事例。

2-1-1 生体組織実験

2-1-2 コンピューターシミュレーション

2-2 なぜうまくいかなかった事例が生じるのか?

3. 医工獣産学連携について

3-1 獣医学部との連携

3-2 産学連携

3-3 産官学連携

4. なぜ日本の医療機器開発、特に治療機器の開発が問題があるのか?

5. 日本企業が抱える問題点

6. 山口県/大学で解決すべき課題

7. 未来に向けて

『中国化粧品』セミナー申込書<■LIVE ■アーカイブ> ※いずれかにチェックしてください

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

● セミナーの受講申込みについて ●

左の申込みフォームに必要事項をご明記ください。お申込み後は、弊社より確認のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

 Eメール 郵送